

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立川口高等学校)

目指す学校像 生徒の可能性を追求し、進路を実現する力と人間力を高める学校

重点目標

- 1 高い志と目標を持って、主体的に勉学に取り組む姿勢を育成し学力の向上を図る。
- 2 部活動・学校行事を通して、協同しながら高い志を持って挑戦する強い心と自ら考えて行動する習慣を養う。
- 3 地域、家庭、中学校と連携し、伝統を受け継ぎつつ躍進する開かれた学校づくりを目指す。

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※ 学校関係者評価実施日は、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

※緊急事態宣言下、新型コロナウイルス感染防止対策のため紙面開催
 出席者 学校関係者 8名
 生徒 3名
 事務局(教職員) 14名

年度		学校自己評価		年度評価(2月1日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況		
1	<p>【現状】多くの生徒が落ち着いて授業を受けており誠実に学習に取り組んでいる。しかし、主体的に切磋琢磨していく意思に弱いところがあり、自分の高い志を実現させるために必要な学習時間の確保が不十分である。生徒の学力向上のために必要な授業改善および指導力向上への工夫により一層の充実が求められている。担任・学年・分掌・部活動顧問等が連携し、情報を共有して一人一人の生徒に応じた丁寧な指導をすることで、生徒の志を育み、進路活動への意識を高めて行動できるように取り組む必要がある。</p> <p>【課題】 ・授業時間以外における学習時間の増加 ・授業改善や指導力向上に向けた研修会等への参加者の増加と情報共有 ・模擬試験や各取り組みのふりかえり指導の徹底 ・次期学習指導要領や大学入試改革に対する、情報収集および研究 ・進学を重点におく学校として全職員の共通理解の深化</p>	学習習慣の定着	<p>①英語・数学・国語を中心に、学年毎・教科毎に週末課題と確認テストを実施する。</p> <p>②朝自習などの「すきま時間」を積極的に活用した学習スタイルを例示するとともに、自習用課題コーナーを質問や相談の場として活用を促す。</p> <p>③授業以外の学習機会として、各種検定試験の受験の奨励と、web学習サービス等の活用を働きかける。</p> <p>④主体的・対話的で深い学び(未来を拓く学びプロジェクト等)の公開授業を学校全体で取り組む。</p>	<p>①学習習慣(授業時間外の学習が全学年の平均2時間以上/1日)が8割以上</p> <p>②生徒アンケート「集中して取り組んだ」が70%以上</p> <p>③各種検定試験やweb学習サービスの申込数</p> <p>④未来を拓く学びプロジェクトの公開授業を2講座以上</p>	<p>【学習時間は不十分ではあるが、習慣を定着させることができた】</p> <p>①学習時間が2時間以上となった生徒は、平日9.5%(9.7%)土曜20.3%(16.9%)であった。()は昨年度12月比。</p> <p>②国語95.3%(87.5%)、数学90.8%(81.2%)、理科94.7%(80.4%)、社会93.8%(82.6%)、英語94.7%(88.1%)といずれも70%を超えている。()内は昨年度12月比。自習室及び自習課題用コーナーを活用した。</p> <p>③英検293名(2級合格12名、準2級合格68名)、漢検340名(2級合格23名、準2級合格21名)、数検16名(2級合格2名、準2級合格2名)が受検した。GTECを1年生全員(322名)が受検した。スタディサプリは286名が申し込んだ。</p> <p>④グループ学習が制限されたため、公開授業が実施できなかった。</p>	B	<p>【課題】授業時間外の学習時間が圧倒的に少ない現状を打開できていない。</p> <p>【改善策】教育の情報化が進み、オンライン授業の設備や動画を用いた学習方法が整備されてきた。令和4年度の新学期指導要領の実施や大学入試制度も考慮しながら、授業改善を行いつつ、生徒の学習時間を増やしていく。</p>
		生徒の学習意欲と学力を向上させる授業の実践	<p>①授業公開週間を中心に、教員相互に積極的に授業参観を行う。</p> <p>②教員の授業力向上や工夫を図るため、校内外での情報共有や研修会等に積極的に取り組む。</p> <p>③生徒の「学力の3要素」を育成するための研究と実践を積極的に行う。</p> <p>④教育の情報化(プロジェクト、タブレットなどの活用)を推進する</p>	<p>①のべ100名以上の教員が授業参観</p> <p>②セミナーや研修会等の参加状況</p> <p>③「学力の3要素」への取り組み状況</p> <p>④プロジェクトや授業動画、補習動画の積極的な活用</p>	<p>【授業参観の数は少なかったが、授業改善の実施により生徒の学習意欲と学力の向上をさせることができた】</p> <p>①6月と11月の2回実施で合計31名が授業参観した。</p> <p>②校内外の情報共有として、出張が自粛、制限される中、オンラインでの取り組みに積極的に参加した。</p> <p>③1、2学年の総合的な探究の時間において、思考力・判断力・表現力に、教科学習の知識・技能を生かして主体的に取り組んだ。</p> <p>④HRと選択教室でプロジェクトを利用した活用した授業が増えた。授業や復習としての動画を活用し、教育の情報化が積極的に行われた。</p>	B	<p>【課題】教育の情報化を活用した学習計画の見直しと継続的な授業改善への取り組み。</p> <p>【改善策】教員のスキルに応じた研修の実施により、情報機器の教育活動や校務への活用推進を図る。既存のやり方と融合しながら、迅速に取り組み、修正しながら促進していく。</p>
		大学入試改革に対応した進路指導体制の整備と充実	<p>①模試実施後のふりかえりを徹底し受験校検討会等を実施して個に応じた指導を行う。</p> <p>②3年生を中心に学期内や長期休業中の講習会や進学補講を実施する。</p> <p>③「川高コアチーム」の取り組みを推進し、学力上位層の意識向上を図る。</p> <p>④次期学習指導要領、新たな入試制度について情報を収集し、本校に適した対応を行う。</p>	<p>①希望進路決定8割以上</p> <p>②学期内に10講座以上、長期休業中に20講座以上の講習会の開講</p> <p>②講習会にのべ100名以上の生徒が参加</p> <p>③川高コアチームにガイダンス等を2回実施</p> <p>④研修会への積極的な参加や校内検討会の実施</p>	<p>【大学入試改革に対応した進路指導体制を拡充することができた】</p> <p>①進路決定者84%(1/22現在)</p> <p>②平日補講16講座(参加生徒250名)、夏季補講15講座(参加生徒200名)、冬期補講11講座(参加生徒50名)、「スタディサプリ」希望者286名受講</p> <p>③川高コアチームにガイダンスを実施できなかった</p> <p>④スタディーサポート、進研模試分析会、一般受験検討会を実施</p>	A	<p>【課題】今年度は、コロナの影響で休校等があり、十分な補講期間を取れず、講座数が減ってしまった。</p> <p>【改善策】進路部を中心に、各学年、各教科に地道に教員に呼び掛ける。同時に「スタディサプリ」の利用を促し、自ら勉強をしようとする生徒を増やす。</p>
2	<p>【現状】伝統を守り、生徒には部活動や学校行事に積極的に取り組む土壌がある。創立79周年を迎え、伝統を再確認するとともに、学校生活における「高く正し」の校訓を継承して実践する必要がある。部活動加入者を積極的に増やし、効果的で効率的な活動計画を立てるとともに、学習と部活動をバランスよく両立させ、生徒の高校生活の充実が一層求められている。</p> <p>【課題】 ・学校生活における『高く正し』の実践 ・部活動加入者の増加 ・生徒会や各委員会を中心とした自主自律活動の継続 ・部活動を継続・再チャレンジできる環境の整備</p>	組織的な生徒指導体制の下で、行事や部活動等の課外活動の一層の活性化と、生徒の人間力の醸成	<p>①挨拶、身だしなみ、物の管理など規範意識の醸成に全校体制で取り組み、継続的な生活指導を実施する</p> <p>②文武両道を重んじ、部活動や学校行事を通して人と交わる力やリーダーシップを育成する。</p> <p>③主体的に学習と部活動の両立を図ることができる指導体制を確立し、生徒手帳を積極的に活用して生徒一人一人が自ら計画的に時間管理するよう支援する。</p> <p>④通学時の交通安全意識を高める。</p>	<p>①挨拶、服装、整頓、清掃等の実施状況</p> <p>②部活動や学校行事の満足度が80%以上が6割以上</p> <p>②部活動加入率の推移</p> <p>③生徒の遅刻者数の推移</p> <p>④交通安全指導実施状況、交通事故0件日にちの増加など</p>	<p>【組織的な指導体制下で行事や部活動の活性化を行うことができた】</p> <p>①93.0%の生徒が「服装・頭髪・あいさつなどがきちんとできている」と感じしており、昨年度より2.5ポイント上昇した。</p> <p>②部活動87.3%(81.1%)学校行事(体育祭のみ)93.1%(94.5%)<昨年度12月比></p> <p>②運動部、文化部あわせて94.5%の生徒が部活動に加入している。昨年度より7.6ポイント上昇した。</p> <p>③遅刻者の1日平均の人数は、前年度の5.1人から4.7人に減少した。(2学期末現在)</p> <p>④自転車事故は10件と、昨年度と同様であった。(2学期末現在)毎朝の校外指導により、イヤホン装着者、傘差し運転者は減少した。</p>	A	<p>【課題】挨拶、服装、整頓、清掃等の風紀についてさらなる向上を目指す必要がある。とくに女子生徒に対する整容指導に工夫やアイデアが求められる。自転車の安全運転・安全点検・交通マナーの向上への指導の充実が必要である。</p> <p>【改善策】職員間の共通理解を図り、継続かつ統一した指導により、「高く正し」い人間を育成していく。継続的に携帯電話の安全で正しい使用、依存症の予防等を指導し、更に講演会・情報収集・研修などを行っていく。</p>
		情報発信の定着化を行い、川高ファンを増やすことで保護者や地域の連携・協力を推進	<p>①進学フェアや学校説明会などを活用して中学生およびその保護者に学校の魅力を伝えるよう工夫を行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の予定、実績などを定期的に情報発信する。川高インフォメーションや学校ホームページを活用する。</p> <p>③保護者との連絡や連携を密にし、PTA活動の活性化を図る。</p> <p>④地域の中学生や地域との交流の充実を図る。</p>	<p>①学校説明会等の参加者数が増加</p> <p>②記事投稿数とアクセス数の増加</p> <p>③行事への保護者等の来校数</p> <p>④中学校や地域との連携回数</p>	<p>【保護者や地域への情報発信を定着させて連携を推進することができた】</p> <p>①オンライン授業の技術を応用して、主会場からHRに説明会内容を配信する方法で開催した。来校者は2,044名であった。昨年度比108%</p> <p>②記事投稿数は136回、トップページアクセスは158,704であった。(1月29日現在)</p> <p>③感染症拡大防止策のため行事を実施することが出来ず、保護者等の来校はなかった。</p> <p>④中高連携で9月に里中学校3学年の生徒(180名)が本校に来校し、放課後の部活動を見学した。</p>	A	<p>【課題】感染防止対策で、学校行事、部活動が制限され、校内の広報活動が縮小された。だからこそ、学校と保護者や地域との連携が必要である。</p> <p>【改善策】制限のある中でできる広報活動を実施して、学校の教育活動を保護者、中学生、地域と情報共有することで連携を促進していく。</p>
3	<p>【現状】保護者や地域に信頼される学校づくりを推進している。保護者や地域、中学生に向けて、本校の魅力をより効果的に伝えるため、在校生の活動状況や学校生活の様子を学校ホームページや川高インフォメーションで情報発信するとともに、学校説明会等の広報活動の内容の見直しと充実を図る必要がある。</p> <p>【課題】 ・部活動ページにおける更新回数のさらなる増加 ・ホームページ記事掲載に関する研修会等の実施</p>	情報発信の定着化を行い、川高ファンを増やすことで保護者や地域の連携・協力を推進	<p>①進学フェアや学校説明会などを活用して中学生およびその保護者に学校の魅力を伝えるよう工夫を行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の予定、実績などを定期的に情報発信する。川高インフォメーションや学校ホームページを活用する。</p> <p>③保護者との連絡や連携を密にし、PTA活動の活性化を図る。</p> <p>④地域の中学生や地域との交流の充実を図る。</p>	<p>①学校説明会等の参加者数が増加</p> <p>②記事投稿数とアクセス数の増加</p> <p>③行事への保護者等の来校数</p> <p>④中学校や地域との連携回数</p>	<p>【保護者や地域への情報発信を定着させて連携を推進することができた】</p> <p>①オンライン授業の技術を応用して、主会場からHRに説明会内容を配信する方法で開催した。来校者は2,044名であった。昨年度比108%</p> <p>②記事投稿数は136回、トップページアクセスは158,704であった。(1月29日現在)</p> <p>③感染症拡大防止策のため行事を実施することが出来ず、保護者等の来校はなかった。</p> <p>④中高連携で9月に里中学校3学年の生徒(180名)が本校に来校し、放課後の部活動を見学した。</p>	A	<p>【課題】感染防止対策で、学校行事、部活動が制限され、校内の広報活動が縮小された。だからこそ、学校と保護者や地域との連携が必要である。</p> <p>【改善策】制限のある中でできる広報活動を実施して、学校の教育活動を保護者、中学生、地域と情報共有することで連携を促進していく。</p>
		部活動ページにおける更新回数のさらなる増加	<p>①進学フェアや学校説明会などを活用して中学生およびその保護者に学校の魅力を伝えるよう工夫を行う。</p> <p>②各学年での行事や部活動の予定、実績などを定期的に情報発信する。川高インフォメーションや学校ホームページを活用する。</p> <p>③保護者との連絡や連携を密にし、PTA活動の活性化を図る。</p> <p>④地域の中学生や地域との交流の充実を図る。</p>	<p>①学校説明会等の参加者数が増加</p> <p>②記事投稿数とアクセス数の増加</p> <p>③行事への保護者等の来校数</p> <p>④中学校や地域との連携回数</p>	<p>【保護者や地域への情報発信を定着させて連携を推進することができた】</p> <p>①オンライン授業の技術を応用して、主会場からHRに説明会内容を配信する方法で開催した。来校者は2,044名であった。昨年度比108%</p> <p>②記事投稿数は136回、トップページアクセスは158,704であった。(1月29日現在)</p> <p>③感染症拡大防止策のため行事を実施することが出来ず、保護者等の来校はなかった。</p> <p>④中高連携で9月に里中学校3学年の生徒(180名)が本校に来校し、放課後の部活動を見学した。</p>	A	<p>【課題】感染防止対策で、学校行事、部活動が制限され、校内の広報活動が縮小された。だからこそ、学校と保護者や地域との連携が必要である。</p> <p>【改善策】制限のある中でできる広報活動を実施して、学校の教育活動を保護者、中学生、地域と情報共有することで連携を促進していく。</p>

学校関係者評価	
実施日 令和3年2月22日	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>・「授業に集中して取り組んだ」と回答した割合がすべての教科で昨年度を上回り、かつ90%を超えているということは評価できる。今後学習時間の増加につながるものと考え、</p> <p>・「学習に積極的に取り組んだ」という生徒が多いのに「学習時間」に課題があることの原因を把握する必要がある。</p> <p>・学習習慣の定着に向けた取組を期待する。</p> <p>・オンライン授業の環境整備やスタディサプリなどの活用などを推進してより学力向上につなげてもらいたい。</p> <p>・生徒の授業への取組状況は良い。教員生徒間のコミュニケーションをより図っていただきたい。</p> <p>・学習時間について増加傾向であるが、もう少し努力してもらいたい。</p> <p>・グループ活動が十分できない状況下であるので個別学習に対する改善が必要である。</p> <p>・定期試験の時だけでなく生徒が平常時から家庭学習を少なくしてはいけない仕組みの工夫をしていただきたい。</p> <p>・情報化が進む中、授業方法を改善している姿勢は評価できる。</p> <p>・課題テスト、小テストの取組の強化は一層の学力の向上に繋がる。</p> <p>・公開授業は校内だけでなく地域に広げ、中学校と連携して授業改善に取り組めるとよい。</p> <p>・コロナ禍で授業参観が困難であったと予想される。</p> <p>・学校全体で教育の情報化に力を入れていることが感じられた。ICTの活用が進んだことは授業改善として評価できる。</p> <p>・プレゼンの授業が増えている。生徒の将来に役立つものと考え、</p> <p>・小中学校がPC端末の一人1台の環境で授業が実施される。高校においても一層ICTを活用した授業を期待する生徒が増える予想される。</p> <p>一層の工夫を期待する。</p> <p>・英語数学の授業アンケートの結果が気になる。全体の底上げとともに進路希望や定着度など個々の生徒の状況を把握して授業改善に取り組んでいただきたい。</p> <p>・先生方の一層の授業力向上を期待する。</p> <p>・進路別習熟度別の演習形式の授業を増やし、生徒同士が切磋琢磨して努力できる仕組みを増やしてほしい。</p> <p>・授業の工夫がみられる。特に演習等での生徒同士の学び合いは有効である。</p> <p>ICTの活用で授業内容に変化を感じるがその効果が実感しにくい。</p>	<p>・感染症対策に伴う業務がある中で補講講座を確保するなど進路指導体制の充実に向けての努力に感謝する。多くの教員が進路指導に関わる体制はよい。</p> <p>・大学入試に対応した進路指導体制は充実している。</p> <p>・進学実績につながる一層の取組を期待する。</p> <p>・補講の充実を期待する。(複数)</p> <p>・1年生から高いレベルの補習を期待する。</p> <p>・年々難関校を希望する生徒が多くなってきている。一般受験に対応したシステムやカリキュラムには課題があると感じる。</p> <p>・進路希望を叶えている生徒が多く進路指導をよく実施している。成績優良者数が多いが、もっと一般受験で難関校にチャレンジする生徒を増やすことを期待する。</p> <p>・自習室の開放等生徒の自発的学習に向けて教員の支援がある。</p> <p>・「身だしなみや挨拶ができていて」と感じる生徒の割合が増加していることは校訓「高く正し」が浸透していると理解する。</p> <p>部活動の加入率の増加についても社会性やコミュニケーション能力が身に付くことにつながり評価できる。</p> <p>・学習・部活動・学校行事に全力で取り組み文武両道を重んじる方針は中学生や中学校からの信頼が高い。</p> <p>・生徒の挨拶は素晴らしい。</p> <p>・生徒の規範意識も高く、落ち着いた学校生活ができています。</p> <p>・「高く正し」のもと部活動に積極的に参加できる環境を作っている教職員の尽力に感謝する。</p> <p>・部活動が活発なことは評価できるが、学習との両立を一層図ってほしい。</p> <p>・コロナ禍で学校行事が殆ど中止になってしまった中、体育祭ができたことは良かった。</p> <p>・生徒会活動等においてコロナ対策を考え、主体的に行事運営を企画する中で生徒の積極性や自立性が向上した。</p> <p>・伝統を引き継ぎ「高く正し」の精神のもと学業と部活動に励み、礼儀正しい生徒が多い。</p>
<p>・学校説明会についてオンラインを活用して感染防止対策を講じるなか、来校者が増加したことは大いに評価できる。一方、保護者説明会など保護者に向けての情報発信(動画など)は双方に限りなければいけない。検討を期待する。</p> <p>・中高連携の取組で交流会を実施した。中学生の満足度は非常に高かった。感謝する。</p> <p>・地域や中学生からの評価は高い。コロナ禍ではあるが一層の連携を期待する。</p> <p>・本年度はホームページの更新回数が多く学校の様子を知ることができた。</p> <p>・PTAのホームページの更新を望む。</p> <p>・ホームページやメールを活用して一層の情報発信を期待する。</p> <p>SNSの活用による広報も効果があると考える。</p> <p>・部活動の活躍など川高の魅力を保護者や中学生に伝えてもらいたい。</p> <p>・毎年、中学生の志願者が増えていることは嬉しく思う。保護者アンケートからも期待が伺えるので一層の努力をお願いしたい。</p> <p>・生徒は正義感、思いやりや優しい気持ちを持っている。その姿を外により表現できるとよい。</p>	